



完成したシャッターの前で記念撮影する生徒たち（18日、嵐山町で）

嵐山消防団（嵐山町）の車庫のシャッターに、町のキャラクター「むさし嵐丸」の絵が登場した。地元の大妻嵐山高美術部の生徒7人が約2か月かけた力作で、消防団は「町民に親しまれそう」と喜んでいる。シャッターは縦横ともに3・5段で、元々白一色だった。子どもの絵で華やかにできないかと、消防団が同校に制作を依頼。生徒たちは4月下旬から週2回、放課後に集まっ

むさし嵐丸 消火に挑む

嵐山 高校生、シャッター塗装

て塗装した。町内で塗装業を営む団員がペンキや筆などの道具を用意し、塗り方を指導した。

絵はむさし嵐丸が消火活動を行っているデザインで、2年の栗原未来さん（16）が考案した。シャッターに絵を描くのは初めてだったという栗原さんは「地域の役に立ちたい」と、みんな楽しく頑張った」と振り返る。

18日のお披露目式で、消防団から花束を贈られた生徒たちは、シャッターの前で笑顔で記念撮影をした。千野晃男団長（54）は「すばらしいシャッターで本当にありがたい。10年も20年も大切にしていきたい」と感謝した。